

さいたま来ぶらり通信

Saitama Library



さいたま市

2008年
12月15日発行
第8号

◆CONTENTS◆

わがまちSai発見
…2～3

さいたまの祭り 冬編

図書館入門 …4

さいたま市図書館の発行物
いろいろカタログ 研究編

ちょっと足をのばして
～類縁機関紹介…5

見沼見聞館

ハロー！来ぶらり
…6

南浦和図書館

としょかん
探偵事務所 …6

学校給食のはじまりは？



『24時間テレビ』より 障害者サービス用機器寄贈

中央図書館は、8月20日、日本テレビ「24時間テレビ」チャリティ委員会より、視覚障害者支援の一環として、障害者サービス用機器等の寄贈を受けました。

寄贈機器は、拡大読書器1台、DAISY（デイジー）CD型デジタル録音図書再生録音機1台、音声パソコン1台、デジタル録音機1台、CDコピー機1台です。

拡大読書器は、印刷物を自分の好きな大きさに拡大し、画面に映し出して読むことができます。DAISY再生録音機は、DAISYを聴いた録音したりする機器です。目次機能が付いているので、好きなところから自由に聴くことができます。音声パソコンには、音声化ソフト、自動点訳・点訳支援ソフト、画面

ほかの22の
図書館もよ
ろしくね！



11月29日、1周年を迎えた中央図書館。奥本大三郎氏を講師に招いての記念講演会や、市内13のボランティア団体による「おはなしパレード」を開催して、1周年を祝いました。

中央図書館は、さいたま市内で開いている時間が一番長い図書館です（平日の開館時間は夜9時まで、休館日は第1・第3月曜日の月2回のみ）。オープン以来の来館者数は120万人、貸出点数も120万点を超えました。これらもどうぞよろしくお願いたします。

おかげさまで1周年 中央図書館

拡大ソフト、メール読み上げソフト、ホームページ読み上げソフト、点字編集ソフトがインストールされています。

これらの機器は、今後、図書館利用に障害のある方へのサービス充実のために活用させていただきます。

詳しくは、中央図書館バリアフリーサービス担当までお問い合わせください。

TEL 048-1871-2100
FAX 048-1884-15500

特別整理休館のお知らせ

図書館名	特別整理休館期間	図書館名	特別整理休館期間
大久保東分館	12月1日(月)～12月3日(水)	東浦和図書館	1月26日(月)～2月2日(月)
春野図書館	12月1日(月)～12月4日(木)	与野図書館	2月2日(月)～2月6日(金)
大宮図書館	12月8日(月)～12月12日(金)	西分館	2月16日(月)～2月18日(水)
大宮東図書館	12月15日(月)～12月18日(木)	北浦和図書館	2月16日(月)～2月20日(金)
桜図書館	1月12日(月)～1月16日(金)	南浦和図書館	2月23日(月)～2月27日(金)
中央図書館	1月19日(月)～1月23日(金)	北図書館	3月2日(月)～3月6日(金)
与野南図書館	1月26日(月)～1月29日(木)		

資料の特別整理のため、左記の日程で順次休館させていただきます。ご理解とご協力をお願いします。

わがまち

はっけん

Sai発



～さいたまの祭り～

《冬編》

12月から3月までのさいたま市の主なお祭りをご紹介します。

12月

10日 十日市 [氷川神社(大宮区)]

「酉の市」ともいわれます。神事としての「大湯祭」も行われます。

福や金銭を集める飾り熊手・神棚・大黒像が売られます。神社の参道の両脇に樽柿や川魚、駄菓子等の露店がところ狭しと並び、福を望む大勢の人で賑わいます。



12日 十二日まち [調神社(浦和区)]

境内はもとより、参道や神社周辺の道路に縁起物の熊手、神棚、正月用品、食物類の露店が立ち並びます。夜ともなると、家族連れなどで混雑します。

また、神社社殿では、「カッコメ」とよばれる手のひら大の熊手が売られています。



18日 秋葉神社秋季例大祭 [秋葉神社(西区)]

過ぎた一年の安泰を感謝し、新しい年の吉を祈る祭りで、講社大祈願祭でもあります。

境内・境外に農具・苗木をはじめ各種の露店が並び、賑わいます。



冬至 一山神社冬至祭 [一山神社(中央区)]

「ユズまつり」ともよばれます。

拝殿での祭典後、境内に薪や杉葉等が積まれ、祝詞のあと神火がつけられ火焚の神事が行われます。置火の上を人形の入った木箱をかつぐ神官と、参列者が渡り一年の災厄を清めます。

さいたま市指定無形文化財です。



1月

1日 初詣 氷川神社(大宮区)、調神社(浦和区)、久伊豆神社(岩槻区)、ほか

1日 日進餅つき踊り [日進神社(北区)]

除夜の鐘を合図に踊りながら餅をつき、参拝者に振るまいます。接待餅・振るまい餅といい、食べると2年長生きするといわれています。

さいたま市指定無形民俗文化財です。



与野七福神めぐり・与野七福神行列 [与野本町通りほか(中央区)]

年の初めに幸福招来を願い、初詣を兼ねて行われます。(徒歩約2時間でまわることができます。)

正月3日には七福神の仮装行列も行われます。



2月

3日 節分祭 氷川神社(大宮区)、調神社(浦和区)、円乗院(中央区)、久伊豆神社(岩槻区)、ほか

3月

3月初旬～4月初旬

人形のまち岩槻 まちかど雛めぐり

[岩槻駅東口周辺商店街(岩槻区)]

人形の産地で全国的に有名な岩槻では、今も活躍する職人さん達の作品や商店に伝わる古い人形などを数多く飾ります。オープニングイベントでは、おひな様パレードなどが行われます。



参考文献

- 『大宮のまつり』……大宮市教育委員会
- 『与野市文化財展図録 与野まち風土記』……与野市教育委員会
- 『大宮市史』……大宮市役所
- 『与野市史』……与野市役所
- 『さきたま文庫50 調神社』さきたま出版会
- 『都道府県別 祭礼行事・埼玉県』おうふう
- 『うらわの祭』……浦和市経済部商工観光課

あなたはどれだけ知っていますか？

さいたま市図書館の発行物 いろいろカタログ 〈研究編〉



今回は、これまでにさいたま市図書館が発行した図書を紹介します。

『本と浦和』

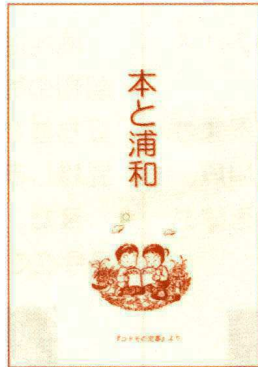
並木せつ子 (北浦和図書館長) / 著

さいたま市立桜図書館 / 編 さいたま市立中央図書館
2008.3

さいたま市図書館友の会発行の「さいたま市図書館友の会だより」に平成12年7月から5年間にわたり連載した文章に加筆修正して1冊の本にまとめました。

文学の名作から、小説、ミステリ、エッセイまで、本に出てくる“浦和”の文字を追いかけてきました。

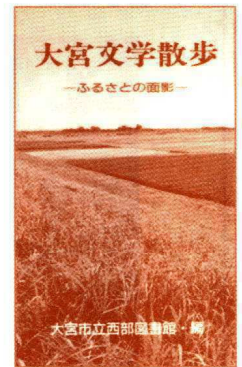
昔懐かしい浦和の情景や、フィクションに描かれた浦和を味わうもよし。楽しみ方はいろいろ。「えっ、こんな人も浦和にいたの？」という発見もあるかもしれません。表紙は、浦和出身のおかべりかさんのイラストです。ぜひ図書館で手に取ってみてください。



『大宮文学散歩—ふるさとの面影』

大宮市立西部図書館 (現さいたま市立大宮西部図書館) / 編 大宮市教育委員会
1991.3

大宮公園を始め、市ゆかりの文学作品の舞台や人物の足跡をたどります。大宮には、太宰治が『人間失格』を書いた家があり、井伏鱒二、正岡子規、田山花袋など、多くの文学者が氷川神社や大宮公園を訪れました。その顔ぶれは、日本の文学史を見るようです。この本をポケットに入れて、ゆかりの地を訪ねる散歩を楽しんでみてはいかがでしょうか。



『大西民子随筆集 まぼろしは見えなかった』

さいたま市立大宮図書館 / 編 さいたま市教育委員会 2007.3

歌人・大西民子は昭和24年から平成6年までの45年間、大宮市 (現さいたま市) に住んでいました。この本では、彼女が短歌雑誌・新聞などに発表した随筆の中から、歌の背景、歌への思いなどを綴ったものを取り上げ収録しています。大宮図書館が編集した本としては、『大西民子の世界』に続くものです。

大宮図書館では他にも、『宮澤章二の世界』『森田公司の世界』など、郷土の詩人や俳人について文学資料専門員が研究し、一般向けにわかりやすく紹介した資料を編集しています。



■『大西民子随筆集 まぼろしは見えなかった』は、大宮図書館で有償で頒布しています。

購入をご希望の方は大宮図書館 (048-643-3701) までお問い合わせください。

(頒布価格は『大西民子の世界』が900円、『まぼろしは見えなかった』『宮澤章二の世界』『森田公司の世界』はいずれも1000円です)

※『本と浦和』『大宮文学散歩』は頒布していません。図書館の所蔵資料をご利用ください

ちょっと
足を
のばして…

見沼見聞館

類縁機関紹介
第8回

親子で楽しめる隠れたアミューズメントパーク

■さいたま新都心の喧騒を抜けると…

さいたま新都心駅東口のシヨッピングモールを横目に、見沼代用水方面に向かって車を走らせませす。住宅街を過ぎるとのどかな風景が広がります。大宮南部浄化センターの白い建物が目に入りました。この建物の一角が今回の訪問場所である「見沼見聞館」です。それでは早速、見沼見聞館に足を踏み入れてみましょう。

■見沼地域の自然を凝縮したピオトープ

見沼見聞館の庭は大きな自然庭園（ピオトープ）。職員の方に説明してもらいながら庭園を回りました。絶滅危惧植物のタコノアシは見事に生育していて、そのユーモラスな姿は、まさに「ゆでタコ」。



自然庭園（ピオトープ）

香りのよいフジバカマ、石けんの代わりになるというエゴノキの実など、説明を聞く、何気なく見過ごしている植物たちが

いとあしくなってきました。夏にはカブトムシやクワガタも集まります。ホタルも飼育しているそうなので、螢火が見えることもあるかもしれません。冬にはバードウォッチングが楽しめるそうです。

■パソコンゲームとCG映画で
環境問題を学べる

館内に入ると、いたるところに職員による手作りのパネルや写真が多数みられます。カワセミが魚を捕らえる瞬間や、ヤゴからトンボになる様子を詳細に写した写真が所狭しと並びます。すべてこの見沼見聞館で撮影されたものばかり。数百体のヤゴの抜け殻の標本にも圧倒されました。職員いわく「手作りじゃないと伝わらない」とのこと、そのこだわりがよくわかりました。そのほか、汚れた水を浄化する過程がよくわかるマジカルシフターやパソコンゲームが充実、切り絵や塗り絵も常時楽しめるなど、至れり尽くせり。まさに、隠れた「アミューズメ

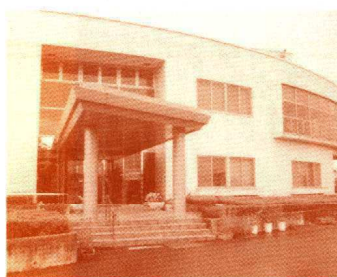


小学生の見学。
わかりやすい説明で自然がより身近なものに。

ントパーク”です。

■おすすめは説明を聞きながら

実は、筆者は数年前まで毎週のように娘を連れて訪れていました。いつも土日に行っていたので、館内は静かだったのですが、平日は各種団体や保育園、小学校、中学校の生徒たちでにぎわっているそうです。今回、職員の説明を聞いて、今まで見過ごしていた動植物や展示物がとても身近に感じられるようになり、見沼地域の自然と環境問題への理解が深まりました。この説明、事前の予約があれば受けられるとのこと。ご家族で回られるのも良いですが、機会があれば、ぜひ説明を聞きながら敷地内を散歩することをオススメします。親子ともども楽しめること間違いなしです。



みぬまけんぶんかん
見沼見聞館
しぜんていえん
・自然庭園

利用時間：午前9時から
午後5時まで
休館日：毎月第4土曜日、年末年始
入館料：無料

住所：さいたま市見沼区大字上山口新田508-1
大宮南部浄化センター内

電話：048-646-6030

交通案内：大宮駅東口から、東武バス（天沼循環）で観音前下車、徒歩10分 または国際興業バス（中川循環）で宝乗院下車、徒歩5分

南浦和駅西口から「文化通り」を歩いて7分ほど。噴水と木々に囲まれた「さいたま市文化センター」の建物内に、南浦和図書館があります。



昭和60年の開館当時から、市内南部エリアを対象とした地域密着型の図書館として、貸出を中心としたサービスを行ってきました。平成9年に東浦和図書館、平成17年に桜図書館が開館した現在もなお、土日のピーク時には貸出手続きを待つ人たちの行列がなかなか途絶えないほどの混雑ぶり。平成19年度には96万点の貸出利用がありました。

たっぷりの陽光がふりそそぐ明るい雰囲気、2階は、児童資料室。木彫りの飾りが可愛らしい書架の高さは子どもも利用しやすいよう低めになっています。

児童資料室。柱や壁に貼られた職員手作りの飾りは季節感たっぷりです。



毎週木曜日は、3時から幼児対象4時から小学生対象に、児童担当職員による「おはなし会」を開催。乳幼児を対象とした「あかちゃんおはなし会」や、クリスマスや夏休みのおはなし会にも力を入れています。児童資料室で配布している「BOOKS TALK(ブック・リレー)」はシリーズものの紹介リスト。No.1は「ぐりとぐら」、No.2は「バムとケロ」のシリーズを紹介しています。お立ち寄りの際は、ぜひ手にとってみてください。



もれなく読むためのチェックリスト付き。

(所在地)

南区根岸1-7-1



としょかん
探偵事務所

学校給食のはじまりは？

Q. 日本で学校給食が始まったのはいつか、またどんな献立だったのかを知りたい。

A. 給食と聞いて、おもわず懐かしくなる方も多いのではないだろうか。さっそく百科事典や事物起源事典にあたってみました。日本で学校給食が始まったのは戦後かと思いきや、その起源は意外に古く、明治22(1889)年に山形県鶴岡町(現在の鶴岡市)の私立忠愛小学校で、貧困児童に無料で昼食を与えたことが始まりでした。

戦後は昭和21年に首都圏を中心に試験的に採用されたアメリカのララ(アジア救済連盟)等の脱脂粉乳や、軍が所有する缶詰などが使われました。また小麦が支給されたために、パン中心の献立でした。一時学校給食廃止の危機もありましたが、給食要望の全国的な運動が起こり、昭和29(1954)年には学校給食法が制定されて、本格的に実施体制が整いました。昭和40年代には脱脂粉乳から牛乳に代わり、パンだけでなく米飯が本格導入されたのは、昭和51(1976)年からでした。

給食の献立については『なつかしの給食』(アスペクト)シリーズに詳しく、献立だけでなく作り方まで写真入りで紹介されています。

参考文献『身近なモノの履歴書を知る事典』

(日刊工業新聞社)

編集：さいたま来ぶらり通信編集委員会 発行：さいたま市図書館

<http://www.lib.city.saitama.jp/> 携帯電話用 <http://www.lib.city.saitama.jp/m/> (下のQRコードを読み込んでください)

北浦和図書館 832-2321	桜木図書館 649-5871	春野図書館 687-8301	与野南図書館 855-3735
南浦和図書館 862-8568	大宮西部図書館 664-4946	大宮東図書館 688-1434	岩槻図書館 757-2523
東浦和図書館 875-9977	三橋分館 625-4319	七里図書館 682-3248	岩槻駅東口図書館 758-3200
桜図書館 858-9090	北図書館 669-6111	片柳図書館 682-1222	岩槻東部図書館 756-6665
大久保東分館 853-7100	宮原図書館 662-5401	与野図書館 853-7816	
大宮図書館 643-3701	馬宮図書館 625-8831	西分館 854-8636	

事務局：中央図書館 浦和区東高砂町11-1 TEL 048-871-2100

★★編集委員より★★ 毎日寒い日が続いて、外出するのがあっくうになっていませんか？ 散歩がてら図書館にお越しください。さまざまな本やイベントを用意してお待ちしております。

